



令和6年9月19日

松江市立古江小学校学校だより（文責 校長：青山 巧）

9月も半ばを過ぎました

朝夕は少し涼しくなったとは言え、日中は連日猛暑が続いています。先週は給食時に「今日は暑さのため校庭では遊べません。」という放送を何度か流しました。本校だけではなく、多くの学校でこのような対策をせざるを得ない状況と聞いています。それでも登校途中に栗の実を拾って、「どうやったら食べられるの？」と嬉しそうに聞いてくる子や、イチジクの実を見て「大好き！」と秋の訪れを感じている子もいます。稲刈りの後の何とも言えない薫りも含め、気温ではなく自然の風景や五感で季節を感じることができる古江の子どもたちは幸せですね。週間天気予報では、この週末から最高気温が30度を下回るようです。秋はそこまで来ているのかもしれませんが。来週末の6年生の修学旅行もすがすがしい☆になることを願っております。

夏休み以降、子どもたちの学校での活動の様子や教職員の研修の様子などについて、その日の内にホームページで紹介するよう教頭が頑張っています。是非ご覧になってください。「こんな記事載せてほしいな」というご要望があれば教えてください。

湖北白鳥学園駅舎清掃

ご参加お待ちしております

昨年度は雨天のため、その前はコロナ禍のため実施できなかった駅舎清掃を以下のとおり計画しました。

この行事は湖北白鳥学園小中一貫教育の組織である家庭・地域連携部が企画・運営して行っているものです。昨年度までは、土日開催で実施されていましたが、今年度は平日の夕方に設定し、担当する駅を4つに分け、各校で内容を決めることにしました。古江小学校は、松江イングリッシュガーデン前駅を担当し、盲学校の皆さんと一緒に活動を行う計画です。

詳細については、保護者の皆様には文書でお知らせします。地域の方で、ご参加いただける場合は学校（36-8752）まで事前にご連絡ください。

期日：10月11日（金）

時間：16時～16時30分（予定）

※ 荒天時中止

場所：松江イングリッシュガーデン前駅

12日の授業公開日にはたくさんの保護者の皆様にご参観いただきありがとうございました。当日は非常に蒸し暑く、廊下で観ていたのが心苦しかったです。今後は多くの方に教室に入ってもらえるよう工夫します。



東北大震災の震災遺構を視察してきます

9月19日～20日に、県校長会の事業で、福島県に東北大震災の遺構視察と地域在住の方との懇談会に出かけてきます。

2011年3月11日午後2時46分、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の巨大地震による津波の様子や、東京電力福島第一原子力発電所の被害状況が映像で流れる様子を食い入るように見ていた記憶があります。

古江小の子どもたちは全員が震災後に生まれており、どれだけのものだったのかはわからないかもしれませんが、今後危惧されている南海トラフ地震などの想定をしておく必要があると思います。特に、地域の方との懇談会において、学校や家庭でどのような備えをしておくのか、日々の意識として何が大事なのかをしっかりと聴いて来ようと思います。

9月は防災月間です。ご家庭でも「もしも」の時に備えて話し合いをしてください。

伴 走

陸上の長距離ではペースメーカーをつけて好記録をねらうことがあります。これは、ランナーの走力を援助しているのではなく、ランナー自身も持っている力をより引き出そうとするためのものです。

子どもの自立のために大人がすることは、このような伴走ではないでしょうか。時には背中を見せて走り道標となり、時には後ろから声をかけて気持ちを鼓舞し、時には並走して対等な立場で話をする。子どもの状況を常に把握しながら、必要な位置で伴走を行うことで、子どもが自らの力で未来を切り拓いていく力をつけることができます。

そのためには大人はどんなペースにも対応できる力が必要です。一人では難しいかもしれませんが、家庭・地域・学校といろいろな大人が関わることで、サポートしていくことができるのではないのでしょうか。

2学期始業式当日の早朝、子どもたちの受け入れ準備ができているのかを各教室を回って確認すると、多くの教室では黒板に担任から子どもたちへのメッセージが書かれていました。長い夏休みが終わり、必ずしも学校に前向きな子どもたちだけではない中で、元気を与えるメッセージになっていたようです。

